

Press Release

2017年2月23日

アステラス製薬、武田薬品、武田テバファーマ、武田テバ薬品による 北海道における医療用医薬品の共同保管・共同輸送の体制構築について

- 医療用医薬品安定供給体制の更なる拡充 -

アステラス製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長 CEO:畑中 好彦、以下「アステラス製薬」)は、武田薬品工業株式会社(本社:大阪府、代表取締役社長 CEO:クリストフ・ウェバー、以下「武田薬品」)、武田テバファーマ株式会社(本社:愛知県、CEO 兼社長:松森 浩士、以下「武田テバファーマ」)及び武田テバ薬品株式会社(本社:滋賀県、代表取締役社長:菊繁 一郎、以下「武田テバ薬品」)と、自然災害による非常時の医薬品の更なる安定供給、品質確保、輸送の効率化を目的として、北海道に新たに同4社の医療用医薬品を共同保管・共同輸送する体制を構築し、共同の物流センター(札幌市)を設立することについて基本合意書を締結しましたのでお知らせします。

昨今頻発する地震や風水害等の自然災害時における医療用医薬品の安定供給の維持継続は、大きな課題となっています。また、GDP(Good Distribution Practice)を考慮した保管・輸送時における更なる品質確保が求められています。一方、トラックドライバーの不足、安全運行への取り組み、CO₂削減等の流通上の課題も顕在化しています。

本基本合意書に基づき、上記の課題や環境の変化に対する解決のアプローチとして、各社が協力の上、医療用医薬品の共同保管(作業・管理基準の標準化等)及び共同輸送体制(配送手順標準化・積載効率向上によるトラック台数削減等)を北海道において構築し、2018年3月までの共同物流センターの稼働開始を目指していきます。

アステラス製薬、武田薬品、武田テバファーマ、武田テバ薬品の4社は、いかなる状況下においても、医薬品の安定供給及び品質確保という製薬企業の使命を果たすため、安定的かつ効率的な物流プラットフォームの構築を通じて、医薬品を必要とする全ての患者さん、医療機関に製品とともに安心を届けていきます。

以上

アステラス製薬について

アステラス製薬株式会社 (<http://www.astellas.com/jp/>) は、東京に本社を置き、「先端・信頼の医薬で、世界の人の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げる製薬企業です。既存の重点疾患領域である泌尿器、がん、免疫科学、腎疾患、神経科学に加えて、新たな疾患領域への参入や新技術・新治療手段を活用した創薬研究にも取り組んでいます。さらには各種医療・ヘルスケア事業との融合による新たな価値創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社

広報部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473